

主催者あいさつ

文部科学省スポーツ青少年局

局長 久保 公 人

第53回全国学校体育研究大会岐阜大会にご参加いただきました皆様には平素よりわが国の体育、スポーツ活動の振興に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。本大会は大会主題を「生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む資質や能力を育てる体育授業」とし、基調講演や参加される皆様の活発な協議や情報交換等を通して、今後の学校体育の充実に向けた取組に資するよう開催をいたします。

さて、ご存知の通り、現行の学習指導要領では指導内容が体系化されたわけではありますが、今年度のしかるべき時期には学習指導要領の改訂に向けた動きが出てくることになると思われます。この改訂の検討においては現行の学習指導要領の趣旨の実現状況について、学校現場での取組を中心とした成果と課題を検証し、教員の質的向上や指導力の強化の推進が求められることになることが考えられます。

また、2020年のオリンピック、パラリンピックの開催を契機に、さまざまな取組が今後期待されるところであります。次代を担う子供たちの健やかな心と体を育む上で、学校体育は重要な位置付けになると考えております。幼稚園等での運動への取組や小学校、中学校、高等学校等の体育、保健体育の授業の充実につながるよう、本大会が実り多いものになることを期待しております。

おわりに本研究大会の開催にあたりご尽力いただいた公益財団法人日本学校体育研究連合会をはじめ、公開授業の運営等に携わっていただいた関係教育委員会の皆様方や学校の皆様に深く感謝申し上げますとともに、わが国の学校体育のさらなる発展を祈念し開催にあたる挨拶といたします。

(代読) 文部科学省スポーツ青少年局体育参事官 日 向 信 和